

も、声をかけたらそういう言葉しか出てきません。単語だけを伝えてしまうのです。お願いは命令「○○しろ」となります。疑問は「○○か？」となります。言われても分からないことやできないことは、「いいよ、別に」と流してしまいます。

友達に、「○○したらいいかんよ」と注意されることがあります。が、これが私には難しい。どうすればいいか分からない。例えばこんなことがありました。部室で靴を履き替える時、「そこで靴をトントンしたらいいかんよ」と友達に注意されました。でも、私は靴を履く時に、つま先を地面にトントンとしないと履けません。なので、もう片方もトントンとしました。すると「注意したのに無視した」となりました。先生にも叱られました。でも、なぜ叱られたのか分かりませんでした。本当は部室前でトントンすると、泥が落ちて汚れるからダメなのです。でもその時の私には分かりませんでした。もしも「泥が落ちてもいいとこで、トントンしような」と場所を指定してくれていれば、分かったかもしれせん。

「○○したらいいかんよ」より「○○しような」の方が伝わりやすいのです。私も、悪いところは直したいと思っっています。すぐに忘れるので、なかなか直りません。なぜ悪いのか、どこが悪いのか分からないこともあります。でも、言い方を変えたり、余裕のある時に話したりするだけでも分かりやすくなる場合があります。

そんな私にも感情があります。嬉しい、悲しい、辛い、楽しいと感じます。「一緒にしよう」と声をかけられると嬉しいのです。「こっちは見んな！」「死ね」とか言われると悲しいです。無視されるのも、一人ぼっちも悲しくて辛いです。反対に友達と遊ぶのは楽しいです。たとえ障害があっても、みんなと同



じ感情を持っているのです。できないことは多いけれど、みんなと同じなのです。

最後に、この作文の題名「トリセツ」は、西野力ナさんの歌から頂きました。歌詞にもあるように、人はみな永久保証なのです。そして、一人ひとり違う人間なのです。だから取り扱人もそれぞれ違うのです。障害も含めて、これが私の個性だと笑って許してくれると嬉しいです。みなさん、これからどうぞよろしくお願いします。

「自分が変わること」

北摂三田高等学校 2年 柳天乃



【柳天乃さん】

なんて考えもしませんでした。だって、「みんな」がしているのですから。小学3年生のときのことです。私のクラスでは、給食の時間は隣や前後の人と机を合わせて4、5人で顔を向かい合わせて食べるきまりになっていました。奇しくもそのとき私の向かいの席の人が、嫌われている人だったのです。食べている最中は、ある一人が小学生らしいギャグを言って、周囲を笑いで盛り上げていました。私も向かいの人も楽しく笑っていました。

向かいの人は、一人の渾身のギャグによって見事に牛乳を吹いて、その被害は私にも及んだのです。その瞬間、私は確かに「まあ面白かったしな。仕方ないよな」と思ったはずなのに、近くを通りがかった友人が「うわ、きもちわる」と。大丈夫かと、私に声をかけてきて、途端に向かいの人に軽蔑の念が湧いてきました。そして友人が言ったその言葉をそのまま言ってしまったのです。私は露骨に嫌な顔をして、自分に配膳された給食の具合を声に出して確認しました。吹き出してからずっと、向かいの人はずっと真摯に謝ってくれていたのです。

ふと、直接もう一度言葉を投げつけてやろうと正面を向いたとき、その人は泣きそうな顔でもう何度目かわからないごめんを口にしました。その顔を見た瞬間、私は混乱しました。私は悪いことをしていると思いました。しかし「ここで急にやめては格好悪い」「みんなと違う」と、わけのわからないことを思いついて、ひどい言葉を口にするのはやめました。不機嫌なまま「もういい」とだけ言って、給食を再開しました。それからすぐ、自分に置き換えて考えてみると、自分の行動の愚かさがあり

ありとわかりました。今まで何年も、それこそ幼稚園の頃から続けていた自分の、人に流されるままにとつてしまう行動がとて恥ずかしく思いました。向かいの人がどれだけ傷ついたかを想像するだけで後悔と自責が止まりませんでした。もう二度とこのように流されるままひどいことを言っはいたくないと思えました。こんな思いはしたくないと思えました。私はもとより、自己中心的な人間です。私の言葉によって人が傷ついたり落ち込んでしまうことを、どうにも気に留めていられませんでした。だからあくまで自分のために、後悔で吐きそうな思いになるようなことはしたくありませんでした。後ろめたさなしでただ幸せに生きたかったのです。そこで私は考えて「私が変わればいいんだ」と気づきました。まわりに流されて他人を軽蔑しない、嫌いにならないようにと。考え方が変わって、私の暮らしは激変しました。意識が変わればあつという間違った気がします。

自分の過ちに気づいたとしても、それまでのことはどうしようもないし、清算なんてできません。けれど、どうか一人でも多く、「自分が変わればいい」という言葉の意味を理解する人が増えれば、と思います。

『明日を幸せに生きる私さがしの旅』

参加無料

◆ 聞こえにくい人との最初の一歩 (全2講座)

第2講座

「スムーズなコミュニケーションのために」
【日時】 2月4日(日) 13時30分～15時30分
【講師】 上城 未季子(みきこ)さん 他 (三田補聴器コスモス)
【場所】 総合福祉保健センター 講座室
【企画】 三田難聴者部会・三田サマリー

◆ その悩み一緒に考えましょう!

「スマホ時代に大人が知っておきたいこと」
【日時】 2月9日(金) 19時30分～21時
【講師】 篠原 嘉一(かいち)さん (NIT情報技術推進ネットワーク株)
【場所】 フラワータウン市民センター 視聴覚室
【企画】 狭間地域部会

【申し込み・問い合わせ先】

4面上記
人権推進課まで



わたしのまちの地域部会開催のお知らせ ～どなたでも参加できます～

富士地域部会

日時：1月20日(土) 13時30分～15時30分
場所：富士小学校 多目的室
内容：講演「高齢者も安心して笑顔で暮らせるために」他
講師：フラワータウン地域包括支援センター

武庫地域部会

日時：1月27日(土) 10時～12時
場所：武庫小学校 体育館
内容：講演「心の窓を少し拓いて」他
講師：明石 一朗(いちろう)さん(関西外国語大学 教授)

藍・つつじが丘地域部会

日時：1月27日(土) 15時～17時
場所：藍市民センター 多目的ホール
内容：講演「笑顔になれる地域づくり」他
講師：栗木 剛(つよし)さん(mottoひょうご 事務局長)

三輪・松が丘地域部会

日時：2月3日(土) 13時30分～15時30分
場所：総合福祉保健センター 多目的ホール
内容：講演「地域でわたしができること」他
講師：丸尾 多重子(たかね)さん(つどい場さくらちゃん 理事長)

参加無料

人権擁護委員による人権相談…1月25日(木)

問い合わせ・相談希望者は、人権推進課へ(559-5148 FAX 563-7776)